

令和4（2022）年度 長岡大学シラバス

授業科目名 科目コード	ゼミナールⅣ (Seminar Ⅳ) 264046-14000					担当教員	西俣 先子 (ニシマタ ヒロコ)		
科目区分	ゼミナール科目	必修・ 選択区分	必修	単位数	2	配当年次	4年次	開講期	通年
科目特性	地域志向科目／知識定着・確認型 AL／協同学修型 AL／課題解決型 AL								

① 授業のねらい・概要
対象とした地域の状況について幅広く理解するとともに、対象とした地域において各ゼミ生の興味あるテーマ（主に環境、農業、地域の発展をテーマとする）について、現状や課題を掘り下げていく。文献の輪読、必要があれば、インタビュー調査なども行い、知見を得る。得られた知見をもとに、対象とした地域の課題の分析や課題解決のための提案を行う応用力を身につける科目である。
② ディプロマ・ポリシーとの関連
地域社会に貢献する姿勢／職業人として通用する能力／専門的知識・技能を活用する能力／コミュニケーション能力／情報収集・分析力
③ 授業の進め方・指示事項
報告等の担当になった場合、準備を行うこと。
④ 関連科目・履修しておくべき科目
⑤ 評価 A に対応する具体的な学習到達目標の目安
(i) 対象とした地域の現状や課題に関する情報収集を行うことができるようになる。 (ii) 対象とした地域の現状や課題について他人に説明できるようになる。
⑥ テキスト（教科書）
テキスト指定なし。必要がある場合、ゼミナールの学生の意見を聞いて指定する。 必要に応じて資料を配布する。
⑦ 参考図書・指定図書
大学図書館の西俣先子の推薦図書のコーナーを確認すること。

⑧ ルーブリック					
評価項目	評価基準				
	S 到達目標を越えたレベルを達成している	A 到達目標を達成している	B 到達目標達成にはやや努力を要する	C 到達目標達成には努力を要する	D 到達目標達成には相当の努力を要する
(i) 対象とした地域の現状や課題に関する情報収集を行うことができるようになる。	対象とした地域の現状や課題に関する情報を、文献等から収集するとともに、社会調査の手法を用いて収集を行うことができる。	対象とした地域の現状や課題に関する情報を、インターネットを活用して収集するとともに、出版物（学術論文や書籍、雑誌等）からも収集できる。	対象とした地域の現状や課題に関する情報を、インターネットを活用して得られる範囲で収集できる。	対象とした地域の現状や課題に関する情報を、教員の支援があれば、インターネットを活用して収集できる。	対象とした地域の現状や課題に関する情報を、教員のサポートがあってもインターネットを活用して収集できない。
(ii) 対象とした地域の現状や課題について他者に説明できるようになる。	対象とした地域の現状や課題について他者に説明するとともに、課題解決のための提言ができる。	対象とした地域の現状や課題について他者に説明することができる。	対象とした地域の現状について、他者に説明することができる。	対象とした地域の現状について説明することができる。教員の支援があれば、他者に説明することができる。	対象とした地域の現状について説明することができる。教員の支援があっても他者に説明することができない。

⑨ 学習の到達目標（評価項目）とその評価の方法、フィードバックの方法								
学習到達目標（評価項目）	試験	小テスト	課題	レポート	発表・実技	授業への参加・意欲	その他	合計
総合評価割合				50% *卒業論文（または報告書）		50% *議論や発表などでの発言・レジュメ		100%
(i) 対象とした地域の現状や課題に関する情報収集を行うことができるようになる。				25%		25%		50%
(ii) 対象とした地域の現状や課題について他人に説明できるようになる。				25%		25%		50%
フィードバックの方法	卒業論文はその過程をチェックし、コメントする。							

⑩ 担当教員からのメッセージ（昨年度授業アンケートを踏まえての気づき等）
学生の自主性を重んじ、サポートする形で授業を進める。

⑪ 授業計画と学習課題			
回数	授業の内容	授業外の学習課題と時間（分） （※特別な持参物）	
1	オリエンテーション	シラバスを熟読し授業の目的を理解したうえで授業に参加する	10分
2	取り組んでいるテーマに関する調査・研究	各自担当部分の調査・調査を行う	60分
3	取り組んでいるテーマに関する調査・研究	各自担当部分の調査・調査を行う	60分
4	取り組んでいるテーマに関する調査・研究	各自担当部分の調査・調査を行う	60分
5	取り組んでいるテーマに関する調査・研究	各自担当部分の調査・調査を行う	60分
6	取り組んでいるテーマに関する調査・研究	各自担当部分の調査・調査を行う	60分
7	取り組んでいるテーマに関する調査・研究	各自担当部分の調査・調査を行う	60分
8	取り組んでいるテーマに関する調査・研究	各自担当部分の調査・調査を行う	60分
9	取り組んでいるテーマに関する調査・研究	各自担当部分の調査・調査を行う	60分
10	取り組んでいるテーマに関する調査・研究	各自担当部分の調査・調査を行う	60分
11	取り組んでいるテーマに関する調査・研究	各自担当部分の調査・調査を行う	60分
12	取り組んでいるテーマに関する調査・研究	各自担当部分の調査・調査を行う	60分
13	取り組んでいるテーマに関する調査・研究	各自担当部分の調査・調査を行う	60分
14	取り組んでいるテーマに関する調査・研究	各自担当部分の調査・調査を行う	60分
15	取り組んでいるテーマに関する調査・研究	各自担当部分の調査・調査を行う	60分

16	取り組んでいるテーマに関する調査・研究	各自担当部分の調査・調査を行う 卒業論文・報告書の執筆	90分
17	取り組んでいるテーマに関する調査・研究	各自担当部分の調査・調査を行う 卒業論文・報告書の執筆	90分
18	取り組んでいるテーマに関する調査・研究	各自担当部分の調査・調査を行う 卒業論文・報告書の執筆	90分
19	取り組んでいるテーマに関する調査・研究	各自担当部分の調査・調査を行う 卒業論文・報告書の執筆	90分
20	取り組んでいるテーマに関する調査・研究	各自担当部分の調査・調査を行う 卒業論文・報告書の執筆	90分
21	取り組んでいるテーマに関する調査・研究	各自担当部分の調査・調査を行う 卒業論文・報告書の執筆	90分
22	取り組んでいるテーマに関する調査・研究	各自担当部分の調査・調査を行う 卒業論文・報告書の執筆	90分
23	取り組んでいるテーマに関する調査・研究	各自担当部分の調査・調査を行う 卒業論文・報告書の執筆	90分
24	取り組んでいるテーマに関する調査・研究	各自担当部分の調査・調査を行う 卒業論文・報告書の執筆	90分
25	取り組んでいるテーマに関する調査・研究	各自担当部分の調査・調査を行う 卒業論文・報告書の執筆	90分
26	取り組んでいるテーマに関する調査・研究	各自担当部分の調査・調査を行う 卒業論文・報告書の執筆	90分
27	取り組んでいるテーマに関する調査・研究	各自担当部分の調査・調査を行う 卒業論文・報告書の執筆	90分
28	取り組んでいるテーマに関する調査・研究	各自担当部分の調査・調査を行う 卒業論文・報告書の執筆	90分
29	取り組んでいるテーマに関する調査・研究	各自担当部分の調査・調査を行う 卒業論文・報告書の執筆	90分
30	取り組んでいるテーマに関する調査・研究	各自担当部分の調査・調査を行う 卒業論文・報告書の執筆	90分

⑫ アクティブラーニングについて
ゼミナールで決めたテーマについてグループワーク、ディスカッション、プレゼンテーションを行い、考察を深める。必要に応じてフィールドワークも実施する。

※以下は該当者のみ記載する。

⑬ 実務経験のある教員による授業科目
実務経験の概要

実務経験と授業科目との関連性